



長ネギ こまめな土寄せで軟白を長く作る



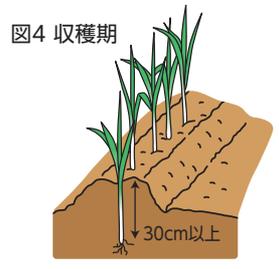
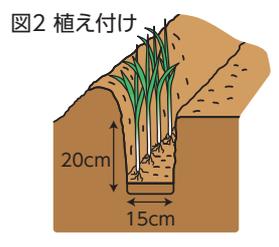
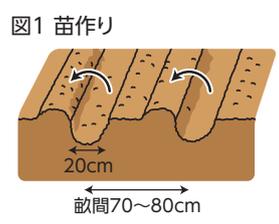
ネギの原産地は中国西部といわれ、中国では2000年以上の歴史があり、日本でも最も古い野菜の一つです。特有の臭気はアリシンで、食欲を増進させる働きがあります。長ネギ(根深ネギ)は土寄せして根元に近い部分を30cm以上に軟白します。

【品種】

「松一本太ねぎ」「トホク」、「石倉一本太ねぎ」(トホク)、甘みとコクある「下仁田ねぎ」(日本農産種苗)も人気があります。

【栽培時期】

春彼岸ころに種をまき、夏に植え付け、晩秋から冬に収穫する春まき栽培が一般的です。



【苗作り】

苗床となる場所に前もって、1㎡当たり苦土石灰100gを散布して耕しておきます。次に、畝間70〜80cmとして、くわ幅の浅い溝を作り、ここに溝1m当たり化学肥料(N:P:K=10:10:10)100gと堆肥1kgを施し、溝の土とよく混ぜておきます(図1)。

【管理】

茎葉が繁茂すると倒れやすくなるため、株の両側にひもを張ります。追肥は、種は溝の全面に1〜2cm間隔になるようにばらまきし、覆土は1cm程度にします。芽が出そろったら込み合う部分を間引き、1カ月ごとに溝1m当たり化学肥料20〜30gを

追肥します。30〜40cmくらいに育ったら、苗の完成です。

【植え付け】

春まきでは6〜7月が植え付けの期です。耕した直後では植え溝が壊れるので、平らにならした後、しばらくして溝を掘ります。畝間は90〜100cm、溝は15cm、深さ20cmに掘り下げます。苗は5cm間隔に溝に並べて立て、根元に少し土を掛け、その上にわらや腐葉土を5〜10cmの厚さに入れます。このときには化成肥料は与えません(図2)。

【追肥・土寄せ】

植え付け1カ月目から1カ月ごとに3〜4回畝1m当たり化学肥料を50gまいて土寄せし、軟白部の長さ30cmを目標にします(図3)。

【収穫】

最後の土寄せ後1カ月程度で収穫できます。



彩・菜・栽

2021年
3月

締め切り
3月26日(金)

みんなあつまれ! JAのアグリスクール

土に触れ、おいしいご飯を食べて、おもいっきり楽しもう!

中津川アグリスクール

申し込み TEL0573-62-4141

- JA中津川アグリセンター近くの畑にて(親子15組)
- 受講料 1家族 2,000円(全4回・材料費・保険代等)
- 日程 5/22(土)、7/10(土)、8/21(土)、10/16(土)

枝豆、スイカ、さつまいもの植え付けと収穫、カレーやフライドポテトづくりを楽しもう!

恵那アグリスクール

申し込み TEL0573-26-2982

- JA恵那アグリセンター(ライフファーム東野)(親子15組)
- 受講料 1家族2,000円(全5回・保険代・通信費・教材等)
- 日程 4/18(日)、5/16(日)、7/11(日)、8/22(日)、10/31(日)

じゃがいもや夏野菜、さつまいもの植え付けや収穫を楽しもう!



恵南アグリスクール

申し込み TEL0573-56-2171

- JA恵南アグリセンター及び近くの畑(親子15組)
- 受講料 1家族2,000円(全3回・保険代・通信代)
- 日程 4/11(日)、7/11(日)、8/22(日)

じゃがいもの植え付けと収穫、いちご狩り(岩村・原農園※いちごパック・ジャム持ち帰り付き)、トマト狩り(上矢作・石川トマト農園)を楽しもう!

恵那北アグリスクール

申し込み TEL0573-72-4113

- JA恵那北アグリセンター近くの畑及び下野いきいき会館(親子20組)
- 受講料 1家族1,000円(全3回・材料費・保険代等)
- 日程 6/6(日)、8/22(日)、10/17(日)

枝豆やさつまいもの植え付け・収穫を楽しもう!

※作物の生育状況や天候により日程を変更する場合があります。

